

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後2週間以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ミネソタ州立大学モアヘッド校	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2024年 8月 ~ 2025年 5月	記入年月日	2025年 6月 2日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: English, TESL (Teaching English as a Second Language)			
科目名	Language and Learning	科目名	Fundamentals of Writing
授業内容	内容は津田の「英語学概論」に近い内容で、音声学や意味論、語用論など言語にまつわることを広く浅く扱っていきます。黒人英語に関するものが興味深かったです。	授業内容	ライティングの基礎について学ぶ授業です。カンマやセミコロン、コロンのさまざまな使い方や、クォーテーションマークなどの基本事項を学びました。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3	単位数	3
サイズ	小 (10人程度)	サイズ	小 (10人程度)
難易度 Course No.	ENGL 365	難易度 Course No.	ENGL 099
宿題の量	多い	宿題の量	少ない
コメント	最も大変な授業でした。週に一回、2時間半の授業で、毎週20ページ以上の事前リーディング課題がありました。3回の筆記試験に加え自分でResearch Questionをたて、インタビューなどから人々の言語使用について10ページほどのレポートを執筆しました。大変でしたがとても学びが多かったです。先生は親切に気にかけてくださり、授業外でオフィスに質問しに行くなど積極的に参加しました。	コメント	タームを通して4回、ライティング課題があり、クラスメイトと交換して査読して、訂正をしてから最後の原稿を提出するサイクルがありました。多くの生徒が履修するComposition Iよりも一つ程度の低い授業なので、留学生の多い授業でした。
科目名	Foundations of Language and Literacy	科目名	Music Theory I
授業内容	主に小学校入学前の子供の音声指導や文字の学習に関する授業です。	授業内容	和音の種類、調、拍子、対位法について学びました
授業形式	ハイフレックス	授業形式	対面
単位数	3	単位数	3
サイズ	中(対面には25名程度)	サイズ	中(20名程度)
難易度 Course No.	STL 295	難易度 Course No.	MUS 107A
宿題の量	多い	宿題の量	多い
コメント	英語ネイティブの子供がどのように音韻意識を身につけていくのかを学ぶことができ、とても有意義なものでした。付属の幼稚園に見学する機会や、グループを組んで学習教材を作成する機会があり、たくさんの刺激を受けることができたと思います。	コメント	20年ほど音楽に携わって生きてきたので、総合大学に留学しているならと思い切って専攻から離れた授業の一つ取ってみました。程度Iの授業なので事前知識が助けとなってほぼ難なく授業についていくことができたと思います。週に3回各50分間の授業で、毎回ワークシート課題が3-5枚程度出るので他の授業との両立が少し大変でしたが、音楽の理論を学ぶとても良い機会でした。

科目名	Written Discourse Structure	科目名	Music Theory II
授業内容	第二言語として英語を学習する生徒へのWritingとReadingの指導についての授業	授業内容	程度Iの続きとなる授業。SATBのpart writing,コード進行の分析などを行います。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3	単位数	3
サイズ	小(3名)	サイズ	小
難易度 Course No.	TESL 456	難易度 Course No.	MUS 108A
宿題の量	まあまあ多い	宿題の量	中
コメント	TESLコースで唯一開講されている授業でした。先生も様々な地域で英語を教えてきた経験があり、そこから吸収できるものもありました。5回ほどテーマに沿って指導案を書き、クラスで案を発表した後、改善させて提出するという流れでした。他2人はスペイン語圏で英語を教えたいアメリカ人の学生で、意見交換は毎回興味深いものでした。	コメント	秋に続いて春にも音楽を履修しました。より専門性が高くなり、進むスピードも早いと感じましたが、宿題のワークシートが良い復習教材となり、自分なりにノートをまとめることで授業にもついていけました。とても親切な先生で、質問にもすぐ対応してくださりました。
科目名	Grammars of English	科目名	Individuals with Exceptionalities
授業内容	文法についての授業です。句型や品詞の役割、助動詞など基本的なことから勉強します。	授業内容	特別支援教育に関する授業です。様々な障害について知識を深めます。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3	単位数	3
サイズ	小	サイズ	大(30名ほど)
難易度 Course No.	ENGL 493	難易度 Course No.	SPED 225
宿題の量	小	宿題の量	ほぼなし
コメント	英語のネイティブたちがどのように母語について教えられるのか気になり、履修しました。とても面白い先生で、第二言語として学ぶ私の学習経験や日本語はどうなっているかなど授業中に何度か問いかけてくれたのが印象的でした。自宅で受けるチャプタークイズと、リサーチペーパー、期末課題がありました。特にペーパーは大変でした。	コメント	週一回、2時間半という設定の授業でしたが、2時間以内で終わることが多かったですが、とても豊富な経験がある先生で、様々な出来事を話してくださいました。自分が実際教員になった時にどう対応するか、考えさせられる授業でした。また、先生が毎週手作りのクッキーやお菓子を配ってくれました。
科目名	Speech Communication	科目名	Linguistic Phonetics
授業内容	スピーチの授業です。Informative speech, Imptomptu speech, Persuasive speechの3種類をやりました。	授業内容	音声学の授業です。母音、子音それぞれの音について学び、聞いたものを発音記号に書き換えられるようになることをゴールにしています。
授業形式	対面	授業形式	ハイブリッド
単位数	3	単位数	3
サイズ	小(15名程度)	サイズ	中
難易度 Course No.	COMM 100	難易度 Course No.	SLHS 201
宿題の量	中	宿題の量	中
コメント	スピーチは準備がとても大変だし緊張しましたが、スピーチをすることは中々ないので良い経験になったと思います。また、イントロの部分でどのように自分を紹介し、相手を惹きつけるかということを知ることがとてもためになりました。Persuasiveはグループ活動になるので、グループで協力する大変さもありました。	コメント	津田で音声学をとったことがありましたが、母音の発音が苦手だったのでもう少し学びたいと思い履修しました。ネイティブの子達がスラスラと発音記号を書きながら、とても苦戦しましたが特徴を詳しく教えてくださいましたので履修前よりは理解が深まったと思います。発音がうまくできていない子供の試験音声聞ける貴重な経験もできました。

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>予習と課題がとにかく大変でした。特に秋学期は課題の多い授業が重なっていたので睡眠時間を削りながら勉強していました。リフレッシュをする時間も十分になく精神的にも体力的にもキツくなることもありましたが、休日の半日は自分の時間に充てるなどしてメリハリをもつようにスケジュール管理をしました。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>他の日本人の留学生とともにJAPAN CLUBを運営しました。2週に1度、1時間のセッションを開催し、日本語を教えたりアニメを見たり、書道を行ったりなど日本の文化などを伝えるために様々な活動をしました。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所 キャンパス内にある寮の一つ、Nelson Hallで生活をしていました。</p> <p>設備についての簡単な説明 全部屋個室の寮で、円柱型になっているのが特徴です。他の寮と比べると、設備は古いです。男女で階が別れています。フロアにはキッチン(シンク、コンロ、オーブン、電子レンジ)と洗濯機、乾燥機があります。また、バスルームにはシャワーとトイレが3台ずつ設置されています。部屋には机、ベッド、クローゼット、チェストなどが備わっていました。どの寮もヒーターはありますが、冷房はないので夏の間はかなり暑いです。</p> <p>部屋について 1 人部屋 広さ 10 畳くらい</p> <p>ルームメートについて 1人の時間が必要だと思ったので1人部屋にしました。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法 寝具はGlobal Engagement Centerがシーツ、枕、枕カバー、毛布、ハンガーを入寮の時に支給してくれました。他の生活用品は主にWalmartというスーパーで購入していました。時々、徒歩圏内だけど少し割高なHornbacher'sに行くこともありましたが、オリエンテーションの初日か2日目に買い物に連れて行ってくれるので、洗濯洗剤やシャンプーなどは早い段階で手に入りました。</p> <p>生活の感想 快適に過ごすことができました。特にシャワールームは古く、到着してすぐの頃は戸惑いましたが次第に慣れていきました。部屋も1人には十分な広さで、騒音などのトラブルもなく過ごせました。よく話しかけてくれる子や仲良くなった留学生もできて楽しかったです。もし困ったことがあればRAというフロアリーダーの生徒がすぐに対応してくれるのも心強かったです。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>無制限のミールプランを購入しました。平日は朝昼晩の三食、土日はランチと晩御飯が提供されています。バイキングスタイルで、好きなものを選べます。授業で忙しいのと、私は冷蔵庫をレンタルできなかったので自炊も難しく、食事の提供にはとても助かっています。好き嫌いが激しいタイプだとは思っていませんでしたが、食べられるものが無さそうな時にはピザコーナーやファストフードコーナーから選んだり、サンドイッチを作っていました。また、食堂内にキッチンスペースもあり、お米と卵液、調味料、具材などが使えるので、チャーハンを作ることもありましたが、秋休みや冬休みなどの長期休みは休業しているので、友人と自炊をしていました。</p>

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	OSSMA PLUS	
	留学先大学にあった医療保険制度	
7	United Health Care	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	なし	
	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
(現地通貨)		
	渡航旅費	170,000 円
	帰国旅費	160,000 円
	引越し(往復で)	円
	保険	56,320 円
	語学研修費	0 円
	留学先学費	2,056,200 円
	本学学費	200,000 円
	教材費	19,500 円
	住居費	1,083,150 円
	食費	675,000 円
	その他(日用品)	15,000 円
	()	円
	()	円
	合計	4,435,170 円
	換算率 (1ドル = 150 円)	
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
JASSO奨学金(給付)		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
<p>サンダル(お風呂用)、スキンケア用品、歯ブラシ、ヘアトリートメント、常備薬、箸、食料(お米、インスタント味噌汁、パスタソース、乾麺、めんつゆ、お茶パックなど)、レンジで炊飯できる容器、衣類、多めの下着類、運動着、防寒具(ダウンジャケット、帽子、手袋)、メガネのスペア、シャンプーなどを入れるカゴ、Writingの教科書(津田の授業で使っていたものがあれば)、リップクリーム、ハンドクリーム、予備として旅行用のシャンプー類。私はユニクロのライトダウンとベンチコートみたいな厚手のコートの二つを日本から持参しました。持って行って困りませんでした。現地でも70ドルくらいで買えるので必須というわけではなさそうです。季節の変わり目に着る薄手のジャケットは持っていった方がいいと思います。</p>		
留学前にしておけばよかったこと		
<p>英語の勉強は言うまでもなくキリがないので、ほかのことだと航空券を往復で買ってあげればよかったと思いました。先に帰国分も買って後から日程を調節したほうが安いのではないかなと思います。アカデミックカレンダーには記載がありませんし、年によって日程が前後するかもしれませんが、留学生向けの修了式(Sash & Farewell ceremony)がCommencementの前日にあります。そこで修了証をもらえたり友達を招待してお別れができたります。私はそのセレモニーに出席して次の日に帰国しました。チケットを買う時の参考になれば幸いです。</p>		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>学習面では、課題が多いことがとても大変でした。特に秋学期は課題が一つ一つ重かったり予習のリーディングの量がとても多かったです。CMUという学生会館のような場所で夜11時までほぼ毎日残ってやっていました。それでも終わらず睡眠時間を削ることもあり精神的にも身体的にもしんどかったです。とてもいい経験をしたなど今では思いますが、やはり当時はキツかったので春学期は授業のレベルを調整しました。生活面では、1年間湯船に浸かれなかったので疲労が抜けないという感覚がありました。寮にバスタブはあったのですが、使用感もなくあまり清潔そうに見えなかったので使うのは控えてしまいました。また、水(浄水器)の味が私には苦手です。40本パックを定期的に購入していました。また、学内の寮生活というのも初めてだったので適応しにくかったのかもしれませんが。部屋を一步外に出て食堂に行ったりすれば必ず誰か友人に会えます。心強いと思う反面、少しメンタルが下がっている時でひとりになりたいと思っても、キャンパスで生活していると中々難しいなと思いました。自分の精神は自分でバランスを取るように心がけました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>予習のリーディングも少しずつ早く読めるようになっていったと思います。また、それまで知っていたけれども使う場面がよくわからない単語や表現なども、友人や先生が使っているのを聞いて自分も使って表現できるようになりました。インプットと同時にアウトプットの量が増えるので語学力も少しは伸びたのではないかと思います。津田にはない授業をたくさん取って学べたことも留学の成果です。クラスメイトに助けをもらいながら最後まで諦めず取り組むことができました。精神面では上に書いたバランスを取る、ということに加え、何に対しても一生懸命やるということがとても重要だということを再確認できました。授業や課外活動など手を抜こうと思えば今の時代だといくらでも手を抜けてしまいますが、たくさん質問をしたり、先生が求めてくるクオリティにしようと頑張ることには、やはり価値があると思いました。そういう姿勢であれば必ず相手が頑張っていることに寄り添ってくれるし、何よりも自分の力になります。言い訳を探して逃げてしまいがちな私でしたが、常に上を追求し続けることを学べた気がします。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>教員採用試験を受験します。渡米前に、大学3年生向けの1年前倒しで一次試験を受けられる特別選考に合格することができたので、帰国後は8月下旬の二次試験に向けて準備をします。一般企業の就活は行っていません。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学して何をやりたいか、目的をしっかり持つことが大切だと思います。「〇〇学びたい」や「語学力をあげたい」などなんでも大丈夫だと思います。「やりたいことを見つけたい」などでもいいと思います。目的がないまま過ごすには時間やお金が無駄で、精神的にも辛くなってしまうと思うので、ぜひ留学の目的をしっかり持って準備して欲しいと思います。留学前は、現地で友人ができるかなど私も不安なことがたくさんありましたが、飛び込んだ先での流れに身を任せながらも自分から行動することも忘れず充実させてください！</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>教育系の授業には実習が必要なものが結構あります。授業時間外に結構時間が取られるのとシステムを使うのにお金がかなりかかるので、履修前に確認すると思います。しかし実習ができるのも貴重な体験なので行きたいと思う方はぜひ参加してみてください。私はTESLというコースに惹かれてこの大学を選んだのですが、実際開講された授業は一つだけで、2024年秋をもってそのコース自体がなくなってしまったようです。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

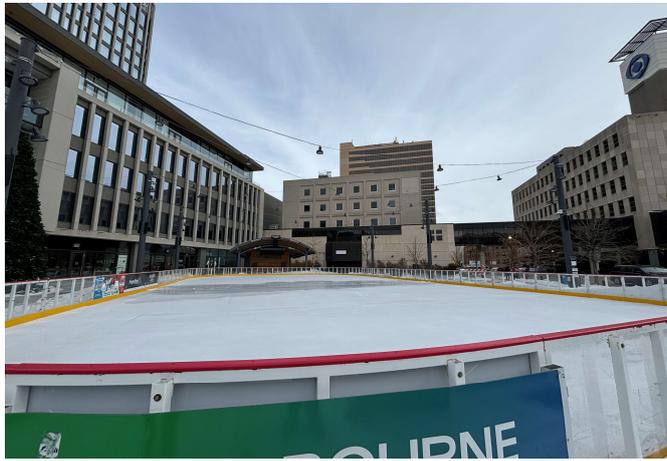
国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

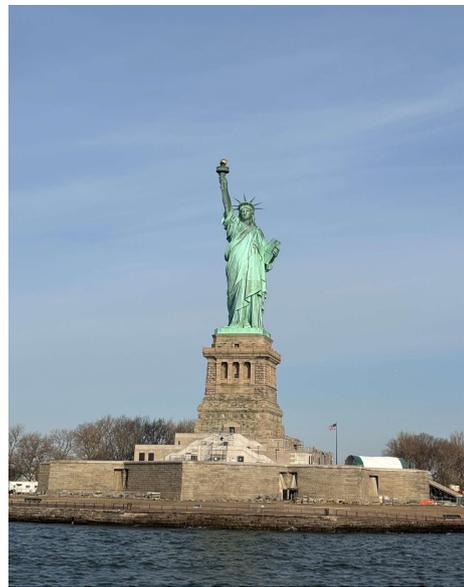
※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



↑友人グループで撮った記念写真



↑冬にはダウンタウンの中にスケートリンクが現れます
3回ほど遊びに行きました



↑冬はヨーロッパ、春はNYへ一人旅



キャンパスにはリス、ウサギ、ターキーがいます



極寒ショッピング



餃子パーティー